

平成30年度社会福祉法人気仙沼市社会福祉協議会事業計画

〈基本方針〉

近年、少子高齢化により人口減少社会の到来に伴い、家族構成や地域社会が変化して社会的孤立や排除、引きこもりの問題など地域社会を取り巻く環境は大きく変化しており、さらには、経済・雇用環境の厳しさからの貧困・格差等の課題が顕在化するなど、地域における福祉ニーズが多様化・複雑化・深刻化しており、社会福祉協議会の果たす役割もさらに大きくなっています。

昨年の社会福祉法の改正に伴い社会福祉法人としてのガバナンスの強化、事業運営の透明性の確保、財務規律の強化を図り、地域の課題、ニーズを踏まえて公益的な取組を推進することで、地域福祉の中心的な担い手としての役割を果たすことを求められています。

このような状況の中、本社会福祉協議会は、地域福祉を推進する民間団体として本年度で4年目を迎える「第2次気仙沼市社会福祉協議会地域福祉活動計画」に基づき、住民とともにを基本として各種機関・団体等との連携・協力の下、第2次気仙沼市社会福祉協議会地域福祉活動計画基本目標の周知と活動計画に掲げた目標の実現のため、より具体的に推進するとともに、次期の計画の策定に取り組みます。

特に、地域での活動を担う人材育成や人材確保が重要な課題として挙げられていることから、小地域ネットワークの構築・活動を通じて、情報の共有や意見交換の場づくりを進め、地域におけるリーダー役を担う人材の育成に引き続き取り組むとともに、幅広い年代の方がボランティア等として関われるような新たな取り組みへのきっかけづくりを進めます。

地域福祉の推進を主体的に行う本会としては、高齢者や障害者、子どもなど幅広い視点での対応が求められており、多様な地域の福祉課題やニーズを捉え、地域課題の解決に向け自らが取り組むための包括ケアシステムを構築し、誰もが住み慣れた地域で自分らしい暮らしができる地域づくりのため、行政のみならず、地区社協とのネットワークの強化と関係団体等との連携を進めます。

介護保険事業・障害者支援事業については、今後もインフォーマルなサービスとの連携を視野に入れ、法令を遵守し、利用者個々の尊厳を基本にした良質で決め細やかなサービスの提供に努めるとともに、安心してサービスが受けられる体制を整備し、利用者のみならずその家族との信頼関係を築き安定的な事業経営に努めます。

指定管理事業については、責任と透明性のある施設管理・運営に努め、利用者の利便性の向上に努めます。

本会としては、社会福祉法改正に対応した組織機能の充実、内部統制等経営基盤の強化に努めるとともに、自主財源の確保、介護保険事業や障害福祉事業を責任と透明性のある運営を基本として財政基盤を確立し、健全経営に努めます。

〈重点目標〉

1 福祉教育の推進・ボランティア活動の充実

福祉に関する教育・啓発に積極的に取り組み、住民一人ひとりが地域福祉を身近に感じ、地域の課題を自らの問題として受け止め、地域活動・ボランティア活動に繋がるよう福祉の意識づくりに取り組みます。

2 小地域福祉ネットワークの発展強化

小地域福祉ネットワークの活動の普及・啓発等地区社協をはじめとする地域関係団体と連携して充実・強化に努めるとともに、地域でのリーダーとなる人材育成と地域の活動拠点づくりとともに、意見・情報共有の仕組みづくりに取り組みます。

3 地域コミュニティの再構築

孤立死の防止や引きこもりの防止、災害時における円滑な助け合いにつなげるため、近所づきあいの促進、地域との顔の見えるつながりの再構築を各種団体と連携しながら進めます。

4 地域包括ケアシステムの構築

地域包括ケアシステムの構築を目指し、市と連携して医療・介護の他職種連携、さらには地域の関係団体などと連携しながら、認知症になっても住み慣れた地域で生きがいを持って暮らせるよう必要なサービスが適切に提供できるよう事業を展開します。

5 専門機関の相談窓口の充実

既存の制度では対応が難しい制度の狭間にある生活上の課題を抱えた方々の解決のための専門機関による相談窓口を定期的に開催します。

6 介護保険事業・障害福祉事業サービス提供の充実・強化

介護保険事業・障害福祉事業に対して、新規利用の確保、拡大、質の高いサービスの提供に努めます。また、定期的な研修受講により、職員のスキルアップを図るとともに、各事業所間での連絡調整を密にして、良質なサービスの提供体制の強化と、業務の効率化を図ります。

7 組織体制の充実と財政基盤の確立

生活課題解決のため地域の総合力を引き出すとともに、社協職員の意識改革を図り、社協職員自らが提案し、行動する開かれた市民に親しまれる社協の組織体制と財政基盤の確立に取り組みます。

1. 法人運営事業

執行機関としての理事会や議決機関としての評議員会、業務執行及び財産状況を監査する監査会を実施し、それぞれの役割や責任を明確化し、本会の経営・運営の充実強化を図ります。

事業名	内 容
理事会の開催	地域福祉の担い手としてふさわしい事業を住民とともに進めていくため、理事会、評議員会を中心として事業の推進を図ります。 定例理事会 3回 定例評議員会 2回 理事 13名以上16名以内、評議員 28名以上33名以内 当初予算額 735,000円
監査会の開催	理事の業務執行や事業の健全経営や透明性を図るため、監事による監査を行います。 定例監査会 2回 監事 3名以内 当初予算額 168,000円
苦情解決責任者及び第三者委員の設置	本会が提供する福祉サービスに対する苦情に適切に対応し、利用者の満足感を高め、利用者個々の権利を擁護し、利用者の苦情に円滑・円満に解決します。 また、研修会への参加など、資質の向上を図ります。 当初予算額 15,000円
評議員選任・解任委員会の適時開催	評議員に欠員等が生じ、各地区や団体からの推薦書が提出された際に、速やかに評議員選任・解任委員会を開催し、体制の整備を図ります。

2. 地域福祉事業

地域福祉活動計画に基づき、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを目指すとともに、地域福祉活動の充実に努めます。

事業名	内 容
地域福祉活動計画の推進	・気仙沼市社協地域福祉活動計画推進委員会を開催し、委員会において活動計画で掲げた取組みの進捗状況の点検・評価・見直し等を行います。また次期計画（第3期）策定に取り組みます。 ・気仙沼市社協地域福祉活動計画推進連絡会議を年間3回開催し、各地区社協の代表委員において、活動計画で掲げた具体的取組みの実施状況の点検・評価、事業推進に向けた連絡・調整等を行います。 ・地区社協ごとに住民懇談会を開催し、地域課題の共有及び情報提供をしながら、地域で支え合う福祉力を高めていきます。その具体的活動の実現に向けて、職員が地域に出向き支援を行います。 当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 502,000円

地区社協活動への支援	<p>地区社協会長会議の開催、情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉の推進を図るため、地区社協会長会議を年4回以上開催し、情報共有と意見交換を行ないます。今年度は、生活支援体制整備事業の一体的推進に向けて、先行事例の紹介などを行いながら、地区社協への支援に取り組みます。 <p>当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 450,000 円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区社協が実施する地域・在宅福祉に関わる自主的な事業へ活動費を助成し、地域福祉活動の促進を図ります。またこの助成事業の有効活用に向けた周知を強化します。 <p>当初予算額 法人運営事業の内 2,511,000 円</p>
ふれあい相談センターの運営	<p>ふれあい相談センターの運営</p> <p>住民の信頼に応えられる社協を目指し、法人内による情報共有会議の開催や、宮城県サポートセンター支援事務所の協力によって、被災者支援サポート弁護士と連携し、法律の専門相談に対応するなど、専門職と連携しながら重層的な支援ができる体制を形成し、住民の相談に対応できるように調整を図ります。また、出張相談を実施し、地域ニーズの発掘に努めます。</p> <p>【気仙沼地区】</p> <p>月曜日から金曜日（木曜日を除く。）午前9時から午後3時まで開設し、住民がいつでも相談に来られる体制を維持し、研修の機会を設定しながら相談員の資質向上に努めています。</p> <p>【本吉地区】</p> <p>多様化する生活課題に対応するため、6名の民生委員の協力を得て、毎週月曜日午前9時30分から午前11時30分まで相談窓口としての生活相談を実施します。また、月曜日以外については支所職員にて相談対応を実施します。</p> <p>当初予算額 1,928,000 円</p>
小地域福祉活動の推進	<p>誰もが地域の中で安心して生活ができるよう住民同士が協力し、見守り、助け合い、支え合う、小地域福祉活動の推進に努めます。また、生活支援体制整備事業と目的が合致することから、地域支え合い推進員・地域支え合い協力員及び協議体を包含する形で推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小地域福祉活動推進会議を再編開催し、この活動の具体的・実践的推進に向け検討を行います。 ・地区社協内への小地域福祉活動連絡会議（協議体）設置に向け、協議を進めます。 ・様々な地域課題の解決に向け隣組から自治会・振興会、地区社協、地域、全市全体など重層的な支え合いの仕組みづくりを進めます。 ・震災後の新たなコミュニティづくりの支援をとおし、近隣で支え合える関係づくりの構築を目指します。 ・地域活動推進者の人材育成を目的とした研修等を段階的に開催します。

	<p>・地域福祉推進フォーラムを地区社協単位で開催し、地域で抱える課題解決に向け住民や関係者がそれぞれの役割を考える機会とします。なお、次年度以降は地区社協等地域単位で開催できるよう支援に努めます。</p> <p>当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 1,014,000 円</p>
地域包括ケアシステムの構築推進	気仙沼市地域包括ケア推進協議会で策定したアクションプランに基づき、構成団体と連携・協力し、地域包括ケアシステム構築に積極的に取り組みます。
広報・啓発	<p>社協だより</p> <p>年6回「気仙沼市社協だより」を発行し（偶数月・全戸配布）、地域活動の紹介や福祉サービス等の情報提供を行うことにより、住民参加による安心して暮らせるまちづくりの推進を目指します。また、本吉地域においては年6回奇数月に「本吉支所だより」を発行し、本吉地域の全戸に配布します。</p> <p>ホームページ</p> <p>ホームページを活用し、地域の福祉活動や福祉サービス、事業の紹介、ボランティア情報等幅広い分野の広報啓発を行います。</p> <p>当初予算額 福祉育成援助活動事業の内 2,730,000 円</p>
本吉地域福祉まつり	<p>『みんなでいろんな輪をつくろう』を開催テーマに市民が楽しく主体的に集うことにより福祉を身近に感じるとともに、住み慣れた地域で安心して生活できるよう一人ひとりの自発的な行動と共助について考え、理解を深める場として開催します。特に地域福祉推進に向けた重層的な地域の支え合いの仕組みづくりを進めるにあたっての理解が深まる場となるよう企画と運営で工夫を行います。開催月：7月</p> <p>当初予算額 福祉育成援助事業の内 318,000 円</p>
本吉地域ひまわり会交流事業	<p>一人暮らし高齢者へ交流機会の提供と仲間づくりを目的に地区社協やボランティア団体及び本吉響高等学校の協力を得て、公民館等を活用しながら年4回実施します。また、より多くの参加が得られるよう内容を工夫し実施します。</p> <p>実施月：7月、10月、12月、3月</p> <p>当初予算額 245,000 円</p>
子育て支援交流事業	<p>関係機関と連携し、子育てに関する研修会やイベントを開催しながら、子育て世代が安心して暮らせる地域づくりを推進します。</p> <p>当初予算額 児童青少年福祉活動事業の内 300,000 円</p>
高齢者交流会	<p>高齢者の一人暮らし世帯及び高齢者のみの世帯を対象に、関係機関等の協力により、生活の質の向上と仲間づくりを目的とした事業を実施します。</p> <p>当初予算額 老人福祉事業の内 50,000 円</p>
善意銀行の運営	<p>市民からの多様な善意の預託を受け、地域生活支援及び住民参加による地域福祉の推進に資するよう効果的な活用に努めます。</p> <p>当初予算額 305,000 円</p>
屋内ゲートボール場の運営	ゲートボール競技を通した市民の健康づくり支援とスポーツの振興及び福祉向上ために、適切な施設の維持管理に努め、利用促進を図ります。

	<p>また、経年劣化に伴うクラブハウス屋根の修繕を早期に実施し、安全な施設利用に努めます。</p> <p>当初予算額 1,080,000 円</p>
--	--

3. ボランティアセンターの運営

地域にとって新たな支え合いの担い手となるボランティア等へのより一層の支援や育成により、地域福祉活動の活性化を図ります。

事業名	内 容
ボランティアセンターの充実とボランティア活動の推進	<p>ボランティア意識の啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア意識の啓発を図り、人との繋がりの中で共に豊かに暮らすことができる地域づくりに理解を深めることができるよう、様々な福祉体験やボランティア活動の機会を提供します。 ・ボランティアコーディネーターを配置し、ボランティアの相談・ニーズの受付・調整・派遣等、ボランティア育成・啓発を推進するとともに、相互理解と互助によるボランティア活動の機運の醸成に努めます。 ・地域福祉やボランティアに携わる人材のすそ野を広げ、地域力の向上を目指すためにボランティア各種養成講座を開催します。 ・ボランティアスクールを開催し、小学生から高校生まで、若年層へのボランティア意識の向上に努めます。 ・ボランティア団体の交流会開催により、今後、気仙沼の新たなまちづくりと共に担う仲間として、相互理解と協力体制づくりを進め福祉のまちづくりを推進します。 <p>ボランティアセンターの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模災害に備え災害ボランティアセンター設置運営訓練を開催し、機能強化に努めます。 <p>ボランティアへの支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアが安心して活動できる環境を整備するために、ボランティア保険の加入促進に努めます。 <p>当初予算額 ボランティア活動育成事業の内 2,510,000 円 ふれあいのまちづくり事業の内 278,000 円 ボランティアセンター事業 220,000 円</p>
ボランティアセンターの充実とボランティア活動の推進 (本吉地域)	ボランティアセンターの機能強化を図り、ボランティアを必要とする方とボランティアを始めたい方をつなぐ調整を役割として、支所だより等を活用したボランティア活動関連情報提供を行うほか、福祉への理解者を増やし地域活動の活性化を図るために地域人材育成や調査、ボランティアの交流、施設・団体・

	地域との連携、ボランティア懇談会開催などを行います。 当初予算額 ボランティア活動育成事業の内 51,000 円
--	---

4. 福祉教育

市内小中学校を対象に、体験や交流活動を通じて福祉のこころを育むことを目的に福祉・ボランティア活動を推進し、児童生徒の福祉教育・学習機会を提供します。

事業名	内 容
福祉教育の推進	<p>地域と連携した福祉学習の開催、福祉学習プログラムの提供を行い、地域で学び合う中で福祉意識の醸成と支え合う地域社会づくりに取り組みます。併せて、小・中学校、高校への多様な福祉教育学習プログラムの提供を行うとともに、擬似体験や認知症に関する学習、ボランティア活動体験等の支援を積極的に行うことで思いやりの気持ちを育み、みんなで支え合うことの大切さ等福祉意識が醸成されるよう取り組みます。</p> <p>福祉教育活動費補助金交付事業 学校教育における福祉活動への活動費の補助により継続した福祉教育、ボランティア学習を支援します。</p> <p>当初予算額 ボランティア育成活動事業の内 413,000 円</p> <p>福祉教育、企業、団体への職員派遣事業 機会を捉えて市社協職員を派遣し、福祉への理解を深めることや地域活動に対する意識の啓発を行い、地域における福祉人材の育成や福祉への理解者の拡大等を図ります。</p> <p>行事参加協力調整事業（高校生ボランティア等の活動調整） 市内の福祉施設等からボランティアの派遣を依頼された際に、市内の高等学校及びボランティア団体の協力を得てボランティアを募り、福祉への理解と協力が深まるよう努めます。</p> <p>当初予算額 ボランティア育成活動事業の内 9,000 円</p> <p>敬老作文コンクール事業 市内の小学生を対象とした敬老作文コンクールを実施することで、児童の高齢者に対する理解を深め、敬老の心を培います。</p> <p>当初予算額 児童青少年福祉活動事業の内 384,000 円</p>

5. 資金貸付等事業

支援が必要となった世帯に資金の貸付や必要な相談に応じることにより、生活の安定や生活意欲の助長が図られるよう事業を推進します。

事業名	内 容
生活福祉資金貸付事業	低所得世帯等の生活の安定と経済的自立を図ることを目的に、担当民生委員や宮城県社会福祉協議会と連携しながら、必要な相談支援を進めます。また、借受世帯の生活実態を把握し、自立相談支援事業所等、各関係機関と連携しながら世帯の自立に向けた支援に取り組みます。 当初予算額 4,795,000 円
生活安定資金貸付事業	低所得世帯に対し、緊急に必要な小口の生活資金を貸付けすることで、生活の安定が図られるよう担当民生委員と連携し、世帯の自立支援に努めます。また、長年滞納されている借受世帯に関しては、担当民生委員との情報共有を図り、生活課題の早期発見と早期支援に取り組みます。 当初予算額 363,000 円

(震災対応事業)

生活復興支援資金貸付事業	被災した低所得世帯の生活の再建を支援するため、必要な資金の貸付と相談支援に取り組みます。また、すでに返済開始されている借受世帯については、定期的に状況を確認しながら適宜必要な支援と返済への働きかけを行います。
特例緊急小口資金貸付事業	震災発生時に貸付を行った資金の債権管理と借受世帯の生活再建状況に応じて、宮城県社会福祉協議会と連携しながら引き続き償還への働きかけを行います。

6. 援護活動

火災被害に遭った世帯に対し、その生活の安定に早期に資するよう支援します。

事業名	内 容
援護活動事業	気仙沼市内に発生した火災等による被災世帯に対し、その生活の安定に資するよう迅速な見舞金等の贈呈に努めます。 当初予算額 福祉育成援助活動の内 31,000 円
歳末たすけあい募金配分事業	住み慣れた地域で暮らしていくために必要な様々な支えあい活動が展開できるよう、民生委員児童委員及び地区社協会長等より、地域の状況を確認しながら募金趣旨に沿えるような配分に努めます。 当初予算額 8,725,000 円
交通・海難等遺児に対する就学支援費の支給事業	交通事故・海難事故・労働災害及び病死（不慮の事故含む）により扶養していた父母の一方または両方が死亡した満18歳以下の高校在学までの者に民生委員を通じ、就学支援費を支給することにより、相談しやすい環境づくりに努めます。

	当初予算額 児童福祉活動推進事業の内 413,000 円
--	------------------------------

7. 生活支援・障害福祉事業

(1) 在宅障がい者福祉事業

生活支援員による認知症の高齢者、知的・精神障がい者の福祉サービスに取り組むとともに、視覚障がい者の外出支援や情報提供に努めます。

事業名	内 容
日常生活自立支援事業 気仙沼・南三陸地域福祉サポートセンター（呼称：まもりーぶ気仙沼・南三陸）	<p>判断能力が十分でない方の日常的な金銭・書類管理や見守りなどの活動を通して、住み慣れた地域で安心して生活できるよう、住民の権利擁護に努め、関係機関とのネットワークを活用した支援体制の構築や、事業所に対する本事業の共通理解促進、専門員と生活支援員の雇用や、人材育成および担当課内によるサポート体制の確立、生活支援員への研修の場の設定、事業実施主体である宮城県社協間との事業内容の整合性を図りながら、事業の実施に努めます。</p> <p>当初予算額 10,870,000 円</p>
障害者福祉の推進	<p>障害者福祉活動事業（障害者との交流）</p> <p>当事者の社会参加を促進するとともに、参加者同士が相互理解を深めることを目的に専門機関と連携し取り組みます。</p> <p>当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 117,000 円</p> <p>録音サービス事業</p> <p>視覚障がい者等への情報提供の一環として、朗読奉仕グループや高校生ボランティア等の協力により「広報けせんぬま」や「本吉総合支所だより」「社協だより」等を朗読録音し、希望者に配布することにより、行政情報や地域福祉情報などの必要な情報発信に努めます。</p> <p>当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 14,000 円</p> <p>点訳サービス事業</p> <p>視覚障がい者への情報提供の一環として、ボランティアの協力を得ながら点訳サービスを行うことにより、行政情報や地域福祉情報などの必要な情報提供に努めます。</p> <p>当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 14,000 円</p>
ガイドヘルパー派遣事業	<p>視覚障がい者の社会生活を支援するために、ガイドヘルパーの派遣を行います。また、ガイドヘルパー現任者に対するフォローアップ講座を開催し、スキルアップに努めます。</p> <p>当初予算額 障害児者福祉活動事業 417,000 円</p>

(2) 指定障害福祉サービス事業

障害者総合支援法等関係法令を遵守し、また、気仙沼市障害者通所施設条例並びに指定管理基本協定に基づき、気仙沼市及び近隣市町村に居住する障害のある利用者及び保護者の意思、人格を尊重し、本人の立場に立ち、心身の特性を踏まえた適切なサービスを提供するとともに、利用者がその有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう適切な支援に当たります。また、職員研修を通して、職員の資質の向上と法令遵守の徹底による適正な事業運営を推進します。

事業所名	内 容
気仙沼松峰園 (多機能型事業所; 就労移行支援・就労 継続B型)	利用者が自立した日常生活または社会生活を営むことが出来るよう、生産活動その他の活動の機会を通じて、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練その他の便宜を適切かつ効果的に提供するよう努めます。 生産活動に関しては、特に菓子製造班の整備拡大と新規清掃事業の獲得により生産活動の増収を図り、利用者工賃に結びつけられるよう努めます。 当初予算額 79, 880, 000 円
気仙沼市みのりの園 (生活介護事業所)	障害者一人ひとりが住み慣れた地域で自分らしく暮らすことができるよう、排泄及び食事の介護、生産活動の機会、その他の便宜等を法令に基づきながら、利用者の意思や個々の尊厳を基本にした細やかなサービス提供に努めます。また、障害特性への配慮と高齢になっても安心してサービスが受けられる体制の整備、職員の技術向上に取り組み、利用者のみならず、家族との信頼関係を築き、連携しながら多様な活動支援プログラムを実施します。施設は地域の社会資源であることから地域住民とのふれあい交流活動を図り、地域のニーズに応えていきます。施設内外の生活環境を整えながら、各年齢層への心身の状況に適したサービス提供に努めます。 当初予算額 53, 372, 000 円
気仙沼市マザーズホーム (多機能型事業所; 児童発達支援・放課後等デイサービス)	児童発達支援事業は、次年度開始予定である保育所等訪問事業を見据え、並行保育先である幼稚園、保育所見学を行いながら、ニーズの把握を行い新規事業の体制整備を行います。 放課後等デイサービス事業は、中学生の利用を開始して支援学級のお子さんの居場所づくりを行います。 当初予算額 37, 138, 000 円
松峰園相談支援センター (指定特定相談支援事業)	利用者又は保護者からの意思及び人格を尊重し、常に当該利用者の立場に立ち、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことが出来るよう配慮し、利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じ、利用者の選択に基づいた適切なサービスが総合的に提供できるよう努めます。併せて地域で必要な社会資源の開拓にも努めます。 当初予算額 1, 466, 000 円
指定共同生活援助事業（介護サービス包	利用者が地域で自立した社会生活を営むことが出来るよう、当該利用者の心身の状況並びにその置かれている環境に応じ、共同生活住居において相談、食事

括型)「つばさ」	その他の日常生活の援助を適切かつ効果的に提供するよう努めます。 当初予算額 6,166,000 円
気仙沼市ホームヘルプサービス事業所	障害をもった利用者が、地域において自立した日常生活又は社会生活を営める ことができるよう、利用者の心身の特性を踏まえたきめ細やかな居宅介護計画 を策定し、適正なサービスの提供に努めます。 また、有用な研修受講や伝達研修により、専門知識の習得の機会を設け、従業 者の資質向上を図ります。 なお、従業者的人材確保に銳意努力し、事業所の安定経営に努めます。 当初予算額 2,600,000 円
訪問介護ステーションからくわ	障害のある方が、可能な限り住み慣れた地域でその人らしい暮らしを営むこと や社会参加を容易にするために、必要なサービスを迅速且つ適切に行うように 努めます。同行援護サービスにおいては、利用者の安全確保を徹底させると共 に、視覚的情報の支援を提供します。また、関係機関と密に連携を図り、利用 者の自立と地域社会参加をサポートします。職員研修に参加し、サービスの質 の向上、事故防止と感染予防の徹底に取り組み、サービス提供体制を強化し安 定経営に努めます。 当初予算額 (居宅介護) 1,054,000 円 (同行援護) 820,000 円
ヘルパーステーションもとよし (居宅介護)	障害をもった方が住み慣れた地域で自分らしく安心して生活できるよう、利用 者一人ひとりの要望を丁寧に聞き取り真のニーズを見つけ出し、専門性が高い きめ細やかなサービスが提供できるよう努めます。また、サービス提供体制を 強化し、関係機関との連携を密にサービスへの理解が広がるよう啓発活動に取 り組みます。 当初予算額 9,451,000 円

(3) 地域生活支援事業

障害者総合支援法に基づき気仙沼市障害者地域生活支援事業実施規則に則り、重度の
障害を持つ方への移動入浴車による入浴サービスを提供します。

事業所名	内 容
訪問入浴サービスからくわ (身障)	利用者・家族の意向を尊重し丁寧に寄り添い、住み慣れた地域や在宅で自分 らしく安心して生活できるよう良質で安心できるサービス提供し、家族の精神的、 身体的負担の軽減を図ることに努めます。また、地域の医療・福祉機 関との連携を大切にするとともに、積極的に研修等に参加しサービスの質の 向上に励み、事故防止と感染予防を徹底します。 当初予算額 1,112,000 円
訪問入浴サービスもとよし (身障)	利用者と家族が住み慣れた地域や在宅で自分らしく穏やかな気持ちで日々 生活できるよう、その意向を尊重しながら、丁寧なケアを目指します。職員 研修やケース検討を強化しサービスの質向上に努めます。 当初予算額 600,000 円

8. 在宅福祉事業

(1) 在宅福祉事業

誰もが安心して地域で暮らせるように、地域関係者の協力、連携の下で定期的な訪問等により、高齢者世帯等の介護予防を視点に置いた支援に努め、地域包括ケアシステム構築を進めます。

事業名	内 容
移送サービス事業	家庭外へ移動困難な方の生活支援を目的に、依頼に基づきリフト付ワゴン車の貸出及びボランティアによる移送を行います。 当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 213,000 円
生活支援型食事サービス事業	定期的に食事を提供するとともに安否確認を行うことで、生活上の負担軽減を図ります。また、安定したサービスの提供が行えるよう、事業の見直しを含め市と協議を進めます。 当初予算額 3,902,000 円
在宅ふれあい型交流事業	地域で暮らす高齢者等の孤立予防と高齢者同士又は地域ボランティア等との交流を通して、住民同士が支え合う地域づくりに努めながら広く事業の周知を行います。 当初予算額 老人福祉活動事業 650,000 円
安否確認訪問サービス事業	一人暮らしの高齢者世帯、高齢者のみの世帯へ乳酸菌飲料の配達を通じて声掛け訪問による安否確認を行います。 当初予算額 81,000 円
介護機器貸出事業	緊急を要する要介護世帯や福祉活動を行うボランティア団体、福祉教育の場等に福祉用具を貸し出し、在宅生活の支援、地域活動及び福祉教育活動の企画や参加を促進します。 当初予算額 ふれあいのまちづくり事業の内 20,000 円

(2) 老人福祉センターの指定管理

高齢者が健康で豊かな生活が送れるよう各種相談や地域の方々との支援等により、生きがいづくりや自立生活の援助に取り組みます。

センター名	内 容
気仙沼市老人福祉センター 福寿荘	気仙沼市の条例及び指定管理に係る基本協定書に基づき、各種相談に応じるとともに、健康の増進、教養の向上、老人クラブの活動及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与できる体制を充実させます。 各集いや各講座等を通し、知識や教養を高めると共に、利用者間の交流を深め、生きがいをもって生活ができるよう支援に努めます。また、介護予防事業も併せて充実させ継続的に実施します 貸館の施設利用者、老人クラブ会員にとっても、安全で居心地の良い環境となるよう施設の維持管理に努めます。また、利用者の声や多様化する福祉ニーズに応えられるよう職員の資質の向上を図り、地域に根ざした施設づくり

に努めます。

当初予算額 19,300,000 円

(3) 指定介護保険事業

介護保険に関する法令等の趣旨に従い、介護を要する高齢者が可能な限り在宅での快適な生活が送れるよう、利用者の尊厳に基づいた適切なサービス提供に努めます。

事業は、法制度の遵守と併せて地域福祉推進という本会の使命や公益性に根ざして実施し、さらには事業の採算性に留意するとともにサービスの質を左右する職員の資質向上に積極的に取り組み、効果的で効率的かつ安定した適正な介護保険事業経営に努めます。

①居宅介護支援事業

事業所名	内 容
一景島在宅介護支援センター	<p>要介護または要支援状態になった場合においても、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、利用者の立場に立ち一連のケアマネジメントプロセスに基づいた適正な居宅介護支援等の提供の充実強化を行います。</p> <p>また、主任介護支援専門員配置等による加算取得にあたっては、管理者と介護支援専門員との業務の相互チェック体制により、指定事業所として運営基準に則った適正な事業運営を図ります。</p> <p>当初予算額 12,759,000 円</p>
燐さん館ケアプランセンター	<p>要介護状態となった場合においても、本人や家族が安心して在宅生活が送れるように、適切な居宅サービス計画を作成し、関係する在宅サービス事業所、関係機関との連携を強化します。また、多様なニーズに対応できるようインフォーマルサービス等の利用で、きめ細かいサービスが提供できるように支援します。</p> <p>当初予算額 16,680,000 円</p>
津谷居宅介護支援事業所	<p>利用者の立場に立ち、介護保険事業と地域福祉推進事業の双方を繋げ、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、生活全体を支える観点で自立支援に向けたケアマネジメント機能の強化と充実に努めます。事業所として法令遵守に向けた管理機能を強化徹底するとともに、職員一人ひとりが信頼されるサービスを提供できるよう、更なる質の向上に努めます。また、支援困難ケースへの積極的な対応を行うなど地域に必要とされる事業所を目指して取り組みます。</p> <p>当初予算額 33,333,000 円</p>

②訪問介護事業

事業所名	内 容
気仙沼市ホームヘルプサービス事業所	<p>要介護または要支援にある利用者が、住み慣れた地域や在宅で自分らしく安心して生活できるよう適正な訪問介護計画を策定し、利用者や家族との定期的なモニタリングにより、よりきめ細やかなサービスを提供します。</p> <p>事業運営にあたっては、管理者の下に業務の相互チェック体制を取り、常に指定基準等の法令遵守による業務を行います。</p> <p>なお、訪問介護員の人材確保に鋭意努力し、利用希望に応えうる人員体制整備と事業の安定経営に努めます。</p> <p>当初予算額 18,353,000 円</p>
訪問介護ステーションからくわ	<p>利用者の人権や自己決定を尊重し、利用者の立場に立ったサービスを適切に提供することにより、その有する能力に応じて可能な限り自立した日常生活を営むことができるよう 在宅での生活を支えます。また、地域の関係機関と連携を強化し、家族の負担軽減を図り事故防止と感染予防対策を徹底します。各種研修会に積極的に参加し、業務に対する知識や技能の向上に努め、事業所及び職員全体のレベルアップを図り、効率的で効果的かつ円滑な経営に取り組みます。</p> <p>当初予算額 17,958,000 円</p>
ヘルパーステーションもとよし	<p>住み慣れた地域や在宅で自分らしく安心して生活できるよう、職員一人ひとりが日常的に知識と介護技術のスキルアップに努め、利用者や家族とのつながりを大切に、きめ細やかで質の高いサービス提供に努めます。継続的な課題である介護職員確保については、常に地域に目を向け福祉への理解を深めながら雇用につながる機会づくりを検討していきます。事業管理を徹底し効率的で効果的かつ安定したサービス提供に取り組み、多職種との丁寧な連携により在宅生活を支えていきます。</p> <p>当初予算額 35,894,000 円</p>

③訪問入浴介護事業

事業所名	内 容
訪問入浴サービスからくわ	<p>利用者・家族の意向を尊重し、地域の医療・福祉関係機関と連携して、利用者が満足する良質で安心できるサービスを提供します。サービスの提供にあたっては、利用者、一人ひとりの心身の状態を踏まえて、質の高いサービスを提供し、家族の精神的、身体的負担の軽減を図り積極的に研修等に参加しサービスの質の向上に励み、地域に根ざし信頼されるよう努めかつ安定した適正な経営に取り組みます。</p> <p>当初予算額 10,550,000 円</p>
訪問入浴サービスもとよし	利用者と家族の意向を尊重し、穏やかな気持ちで住み慣れた在宅での生活が継続できるようなサービス提供を行います。特に、利用者の心身の状況、希

	<p>望や環境を考慮し安心して気持ちよく入浴できるよう、そして、入浴時間を楽しみに思っていただけるよう、ケース検討や職員研修を強化し、サービスの質向上に取り組みます。近年、終末期の利用が増加していることを踏まえ、1回でも入浴していただけるよう利用希望からサービス提供まで迅速に対応していきます。利用者に丁寧に寄り添い満足度を高めながら、安全で良質なサービス提供を行い、効率的で効果的かつ安定経営に努めます。</p> <p>当初予算額 18,643,000円</p>
--	--

④指定通所介護事業

事業所名	内 容
気仙沼市燐さん館デイサービスセンター	<p>利用者の心身の状況、生活環境、本人及び家族の希望等を尊重して作成した介護計画書に基づき、利用者が有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう努め、家族の精神的、身体的負担を図ります。</p> <p>また、利用者、家族から選ばれる施設を目指し、利用者確保に常に意識を持ち経営基盤の安定を図ります。</p> <p>当初予算額 73,046,000円</p>
気仙沼市福寿荘デイサービスセンター	<p>利用者の方が、要介護状態にあっても可能な限り在宅生活を持続できるよう、利用者の方ひとり一人のニーズに沿った適切な介護サービスを提供し、心身機能の維持や悪化防止に努め、在宅で介護にあたる介護者等の介護負担軽減を図ります。</p> <p>また、指定管理者として各種法令等を遵守し、関係する機関、団体及び地域とより一層連携を深め、社協の使命である地域福祉の推進及び公益性を常に認識した施設運営を行います。</p> <p>なお、様々なニーズを持った利用者の受け入れを積極的に行い、職員の資質や接遇マナーの向上ときめ細やかなサービスの提供に心掛け、新規利用者増を図り、職員同士が日常の業務内容を常に点検しコスト削減に努め、事業経営の安定化を目指します。</p> <p>当初予算額 36,558,000円</p>
やすらぎデイサービスセンター	<p>利用者ひとり一人の意志及び人格を尊重し、利用者の立場に立った適正なサービスを提供し、心身機能の維持向上やその家族の身体的、精神的負担の軽減を図り、利用者の在宅生活の支援を行います。</p> <p>また、利用者の多様化するニーズや相談に的確に対応できるよう、関連機関との連携を強化するとともに、職員の資質向上やキャリアアップを図ります。</p> <p>なお、残存機能を把握して利用者ひとり一人に沿った高品質なサービスを提供し、「安心」「信頼」のおける事業所を目指し、事業の安定経営に努めます。</p> <p>当初予算額 37,815,000円</p>

大谷デイサービスセンター	<p>利用者一人ひとりの心身の状態に配慮した安心安全なサービスの提供と、それぞれの思いを大切にしたきめ細かなサービス提供に努め、喜びや生きがいがもてるよう活動や機会の提供に努めます。併せて家族の介護負担軽減が図られるようアンケート等を実施し、困りごとや要望等の把握と改善検討を重ねることで信頼関係を高め安定経営に努めます。さらに、職員の質向上と意識改革に向けて研修体制を充実強化します。</p> <p>また、地域住民との交流の機会づくりや地域貢献も実施し、包括ケアの観点からも各種事業と連携しながら、利用者の方々が住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けていくことができるよう働きかけを行うとともに、地域に必要とされる施設づくりを目指します。</p> <p>当初予算額 35,335,000 円</p>
--------------	---

⑤認知症対応型共同生活介護事業

事業所名	内 容
グループホーム 「桑の実」	<p>事業所理念を「入居者様の思いに寄り添い、笑顔溢れる施設にいたします」と定め、この理念を実現すべく、入居者様の個別ケアの考え方を良く理解し実践するとともに、自己決定する機会を与え尊重します。認知症を持つ入居者様の良い面に焦点をあて、潜在能力を最大限に引き出すことにより、自立と自律を支援するケアに努めます。</p> <p>また、職員の専門的知識や技術の取得を目標に、各種研修会や講習に参加することで個々のスキルアップを図り、提供するサービスの質の向上に努めます。</p> <p>当初予算額 35,401,000 円</p>

⑥福祉用具貸与事業

事業所名	内 容
もとよし福祉用具貸与事業所	<p>利用者が安心して在宅生活が送れるよう、多職種と連携しながら適切な福祉用具の選定、援助、アセスメント等を利用者の立場に立ち誠実かつ丁寧に行っていくことと併せて、社協の介護保険事業所として、事業所の専門性を地域づくりに活かすなどの付加価値にも積極的に取り組んでいきます。また、今後の法制度改正に向け先取による内部研修等を行なながら、選ばれる事業所として利用者確保を図り、安定経営を目指します。</p> <p>当初予算額 14,471,000 円</p>

9. 気仙沼市受託事業

気仙沼市との連携を密にし、さらなる受託事業の充実強化に努めます。

事業名	内 容
生活支援体制整備事業	<p>互助を基本とした地域の多様な主体による多様な生活支援・介護予防サービスの提供体制を推進するとともに、支援ニーズとサービスのコーディネート機能を担い、支え合いの体制づくりの充実強化を図ります。地域支え合い推進員(本会職員)と地域支え合い協力員(地区住民)を配置し、支え合いの地域づくりを推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業のわかりやすい説明により、福祉への理解者と参加者を増やす取組みを進めます。 地域活動や課題の把握、懇談会(話合いの場)への参加など、地域支え合い推進員が地域に出向く姿勢を強化します。 第2層協議体の地区社協圏域での設置に向け、地区社協の強化、福祉コミュニティの活性化、支え合いのネットワークの体制整備等を図ります。 地域支え合い協力員の発掘と養成に努めます。また研修会受講等をとおし地域支え合い推進員の資質向上を図ります。 <p>当初予算額 生活支援体制整備事業 5,200,000 円</p>
気仙沼地区応急仮設住宅入居者等サポートセンター運営事業	<p>災害公営住宅への入居もほぼ完了し応急仮設住宅の入居者は200世帯程となりました。今後も入居者に寄り添いながら見守り・交流支援を継続して行います。また、入居状況に併せ、事務所も6月には拠点団地となる仮設住宅内へ転居予定です。</p> <p>①住民ニーズにあった集会場の開放と地域サロン開催、他団体への協力を継続します。</p> <p>②拠点団地でのコミュニティづくりと環境整備を継続します。</p> <p>③関係機関との連絡調整を随時行い、入居者の生活の安心安全に努めます。上記以外にも気仙沼市からの依頼による訪問活動や高校・大学等の実習授業にも協力を継続していきます。</p> <p>当初予算額 26,603,000 円</p>
気仙沼市「絆」再生事業	<p>東日本大震災から7年目を迎える、被災者の環境変化等による孤立予防と自立に向けて、被災者に寄り添った訪問活動による支援と住民同士によるコミュニティづくりを推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> みなし仮設住宅、自立再建者等を巡回訪問し、孤立化の防止や見守り、社会参加の支援、各種相談を関係機関に繋ぐなど問題の早期発見と課題解決に向けた支援を行います。 支援団体等との連携を図り情報交換をより密に行い、支援の取りこぼしや途絶えがないよう一体となった支援に努めます。 新たな環境へ移り住まわれた方が、新しい地域に馴染み生活ができるよう繋ぎ役に努めます。また、行政等の関係機関をはじめ、地域団体等と連携

	<p>を図りながら交流会開催や開催支援など、被災者間のみならず、地域住民が支え合える関係を構築する福祉コミュニティづくりを支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域課題の把握に努め、行政や支援団体、地域住民等と話し合いの場を作り、課題解決に向けた取り組みに努めます。 ・各種研修会等に参加して職員の資質向上を図り、適切な支援が行えるよう努めます。 <p>当初予算額 96,818,000 円</p>
気仙沼市西地区高齢者相談室運営事業	<p>被災した高齢者等の災害公営住宅や防災集団移転先での生活再建や自立生活を援助するために、計画的な巡回訪問による安否確認や見守り・声掛け・相談等を行います。また、住宅におけるコミュニティの催し物等へ参加勧奨等の援助により、高齢者等の閉じこもりや孤立の防止に努めます。併せて、介護や生活困窮等の予防や対処に必要な援助を心がけ、関係機関等に速やかにかつ的確に繋ぐことができるよう、地域の拠点機関としての充実強化を図ります。さらには、生活援助員が高齢者等の相談等に適切に対応できるよう、研修や講義による資質向上を図ります。</p> <p>当初予算額 15,181,000 円</p>
気仙沼市北部地域包括支援センター	<p>唐桑地域及び鹿折地区の地域組織や関係機関との連携基盤を強化し、高齢者が住み慣れた地域でいきいきとした生活が維持できるよう、高齢者の多様なニーズや相談に総合的に対応し、介護予防等必要なサービスを包括的・継続的に調整する地域の拠点機関として充実強化を図ります。「気仙沼市地域包括ケアシステム構築に向けたアクションプラン」に基づき、地域包括ケア構築に向けた取組みを行います。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 認知症施策として、「認知症初期集中支援事業」「認知症サポーター養成講座」「認知症介護家族交流会」は継続して取組み、新たに「認知症カフェ」を開催し、認知症の人と家族が安心して暮らし続けることのできる地域づくりを推進していきます。 ② 「唐桑地域多職種連絡会」、「地域ケア会議」を通じて、地域の専門職や地域の関係者がお互いの特色を理解し連携できる関係づくりをしていきます。 ③ 生活支援体制整備事業として、市が設置する協議体の地域支え合い推進員や地域の関係者と連携して、高齢者の多様な生活ニーズの把握やサービスの創出の必要性について普及啓発を行います。 <p>当初予算額 28,668,000 円</p>
気仙沼市南部地域包括支援センター	<p>本吉地域の地域組織及び関係機関との連携をさらに進め、高齢者が住み慣れた地域でいきいきとした生活が持続できるよう、高齢者の多様なニーズや相談に総合的に対応し、介護予防等必要なサービスを包括的・継続的に調整する地域の拠点機関としての充実強化を図り、地域包括ケア構築に向けた積極的な取り組みを行います。</p>

	<p>① 認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう「認知症専門チーム」と連携し認知症サポーター養成講座や認知症懇談会を積極的に実施します。</p> <p>② 利用者の目標が達成できるよう、総合事業サービスの利用方法を介護支援専門員と相談しながら作成し、住み慣れた地域で自立した生活の継続に向けた支援をします。</p> <p>③ 安心して暮らしていくために高齢者の尊厳と権利を守っていく取り組みを進めます。</p> <p>④ 市が設置する協議体や地域支え合い推進員（生活支援コーディネーター）と連携し、みんなで支え合う地域づくりに取り組みます。</p> <p>⑤ 認知症の人及びその家族が地域の身近な場所で専門職に相談しながら地域住民と交流ができ、地域住民が認知症についての理解が深められる場になるよう認知症カフェの開催・支援をします。</p> <p>本吉地域として、気仙沼市立本吉病院等の医療機関や関係機関との連携強化や認知症について地域ぐるみでの支援ができるよう住民等への理解を深める取り組みを積極的に進めます。</p> <p>当初予算額 27,116,000 円</p>
高齢者実態把握事業	<p>高齢者の生活状況を把握するため訪問調査を行い、日常生活のなかに隠れている様々な問題やニーズについて、地域包括支援センターと協力・連携しながら、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、地域に目を向け様々な社会資源を活用し、課題解決に向けた支援をします。</p> <p>当初予算額 津谷在宅介護支援センターの内 301,000 円</p>
生きがい活動支援通所事業（元気老人デイサービス事業）	<p>高齢者の社会的孤立感の解消や自立生活の助長及び要介護状態となることの予防を図るために、慣れ親しんだ地域の方々との交流を大切に趣味活動などの提供プログラムを充実させ、楽しく生きることを目標に支援を行います。</p> <p>当初予算額 7,504,000 円</p>
家族介護者交流事業	<p>高齢者を介護している家族に対して、日帰り旅行を通じ介護者相互の交流を図り、介護者を介護から一時的に開放することと、参加者の心身のリフレッシュを図ります。また、交流を通じて互いの介護に対する課題解決ができるよう支援します。年4回実施予定（気仙沼地域2回、本吉地域2回）</p> <p>当初予算額 在宅介護リフレッシュ事業の内 606,000 円 津谷在宅介護支援センター事業の内 134,000 円</p>
介護者教室事業	<p>高齢者を介護している家族等に対し、家族介護教室を通じて、要介護高齢者に関する知識を学ぶことで、介護の負担軽減、状態の維持・改善を図り、在宅生活の質の向上を図ります。年2回開催予定。</p> <p>当初予算額 津谷在宅介護支援センター事業の内 54,000 円</p>
外出支援サービス事業	リフト付車両及びストレッチャー装備ワゴン車等により、利用者の居宅と医療機関及び在宅福祉サービスを提供する場所等との間の移動を支援します。

	当初予算額 251,000 円
大谷学童保育事業	<p>各年齢発達段階に応じた児童の主体的な遊びを積極的に取り入れ、社会性及び創造性の向上、基本的な生活習慣の確立が図られるよう、日々職員間で振り返り話し合い、従事職員の研修等自己研鑽に励み質の向上を図ります。子どもの成長には、家庭、学校のほか地域の協力が不可欠であることを認識し、保護者や地域、各関係機関等との連携を強化し、保育サービスの充実を図ります。さらに、地域住民や子育て関係者との交流の機会を設け、様々な体験活動を通して学童保育への関心を深め、「地域の子供は地域で育てる」という子育てに地域が関わることへの理解啓発に取り組みます。また、継続的な避難訓練などリスク管理を引き続き徹底し、身の安全を守る方法を一人ひとりが学ぶとともに地域全体で見守っていけるよう安心かつ安全な事業運営に取り組みます。</p> <p>当初予算額 7,804,000 円</p>

10. 団体事務

各種団体の事業支援とともに、自主的に活動ができるよう体制整備を支援します。

事業名	内 容
気仙沼市民生委員児童委員協議会	行政担当課と連携しながら事務手続きを進め、各地区民児協運営の支援など民生委員児童委員活動の円滑な推進を図ります。 事務委託契約に基づき、適正な事務処理に努めます。
本吉ブロック民生委員児童委員協議会連絡協議会	宮城県民児協との連携及び南三陸町民児協との相互交流や連携を図り、ブロック内の民生委員児童委員活動の推進を図ります。 事務委託契約を締結し、適正な事務処理に努めます。
気仙沼市共同募金委員会	共同募金（赤い羽根・歳末たすけあい募金）に対する住民の理解と協力を得ながら、募金活動を推進するとともに、適切な配分と援護活動に努めます。 事務委託契約に基づき、適正な事務処理に努めます。
気仙沼市ボランティア連絡会	気仙沼市内のボランティア団体間の情報共有と連携を図るとともに、地域活動の一層の充実のための知識と技術を得る研修等開催を支援し、ボランティア活動を推進します。
気仙沼市老人クラブ連合会	老人クラブ活動の活性を図り、老人クラブ連合会事務の適正な運営に努めます。単位老人クラブ及び地区老人クラブ連合会が、地区の実情に即し活発に活動ができるように支援し、高齢者の生きがいと活動の充実を図る事業を開発するように努めます。関係機関や関係団体との連携を強化し、女性リーダー、若手リーダーの育成と専門部活動の充実強化に努めます。
本吉町老人クラブ連合会	全国三大運動（心と体の健康づくり、友愛活動、社会奉仕活動）の積極的な推進と併せ、会員増強運動に積極的に取り組みながら、関係機関や団体等との連携強化によるクラブ組織の基盤強化を進めます。さらに、女性リーダーの育成と女性部活動の充実強化、会員増強を目標とし、団体の適正な運営支

	援に努めます。
本吉町遺族会	気仙沼市遺族会との連携を密にし、英靈の顕彰と慰靈に関する事業、戦没者遺族の相互扶助、会員生活相談に関する事業など、団体の適正な運営支援に努めます。